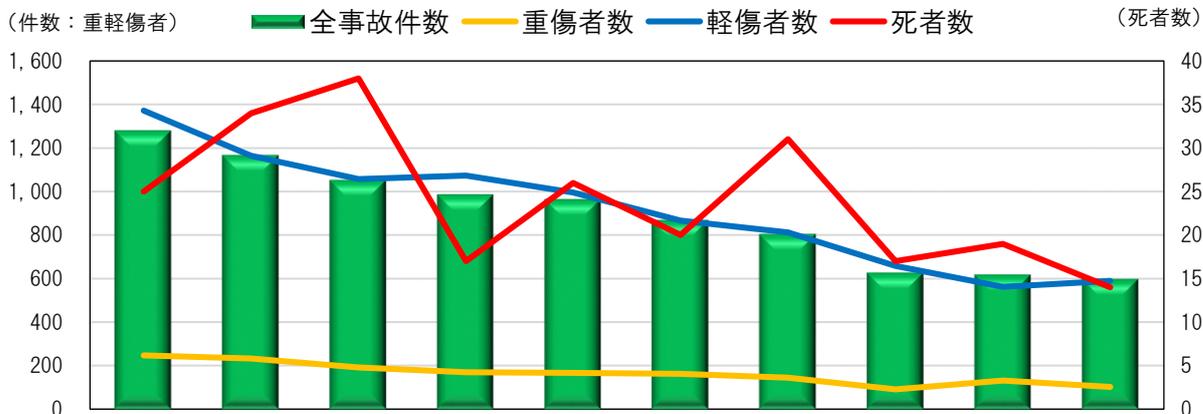


信号機のない横断歩道における交通事故の分析結果について
～鳥取県内の過去10年間（平成25年から令和4年）の分析～

1 過去10年間の交通事故発生状況



	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
全事故件数	1,280	1,168	1,053	987	965	869	805	628	618	598
死者数	25	34	38	17	26	20	31	17	19	14
重傷者数	247	232	192	169	166	163	144	91	132	102
軽傷者数	1,372	1,164	1,058	1,074	996	866	813	658	562	589

2 信号機のない横断歩道における交通事故発生状況（件数112件・死者数5人・負傷者数113人）

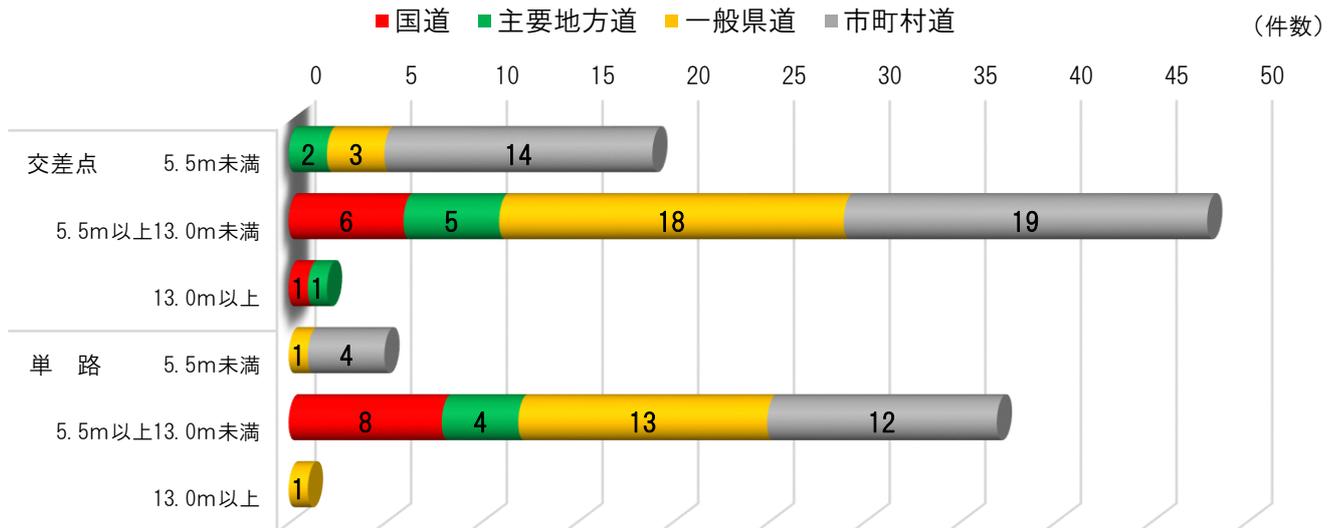
(1) 過去10年間の推移（平成25年から令和4年）



	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	合計
発生件数	10	13	13	8	13	13	7	10	16	9	112
うち死亡事故件数		2	1							2	5
死者数		2	1							2	5
負傷者数	10	12	14	8	13	14	8	11	16	7	113
うち重傷者数	8	4	5	4	5	4	3	2	7	2	44
全事故件数に占める割合	0.8%	1.1%	1.2%	0.8%	1.3%	1.5%	0.9%	1.6%	2.6%	1.5%	1.2%

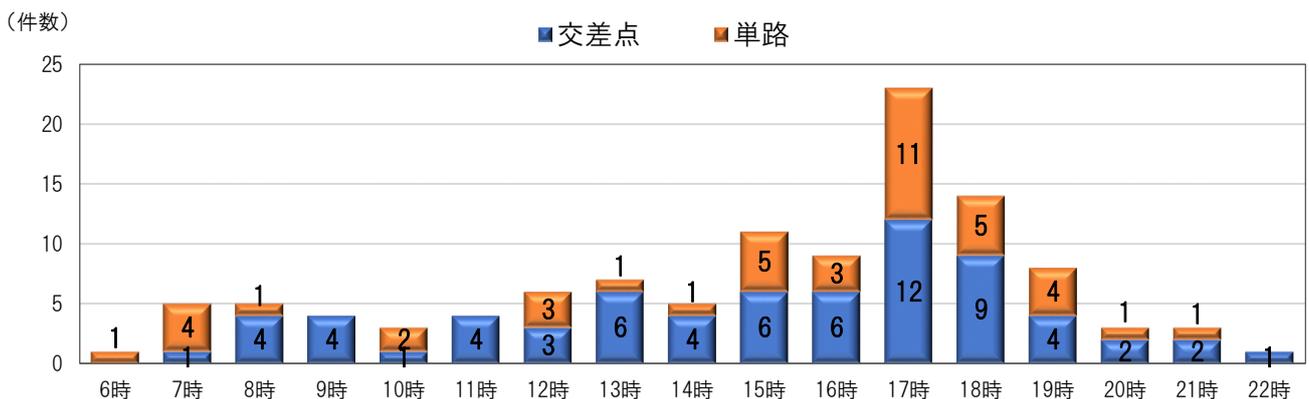
○ 平成25年から令和4年までの10年間で信号機のない横断歩道において交通事故が112件発生し、5人が死亡、113人が負傷（死傷者数118人）

(2) 道路形状別・路線別・車道幅員別



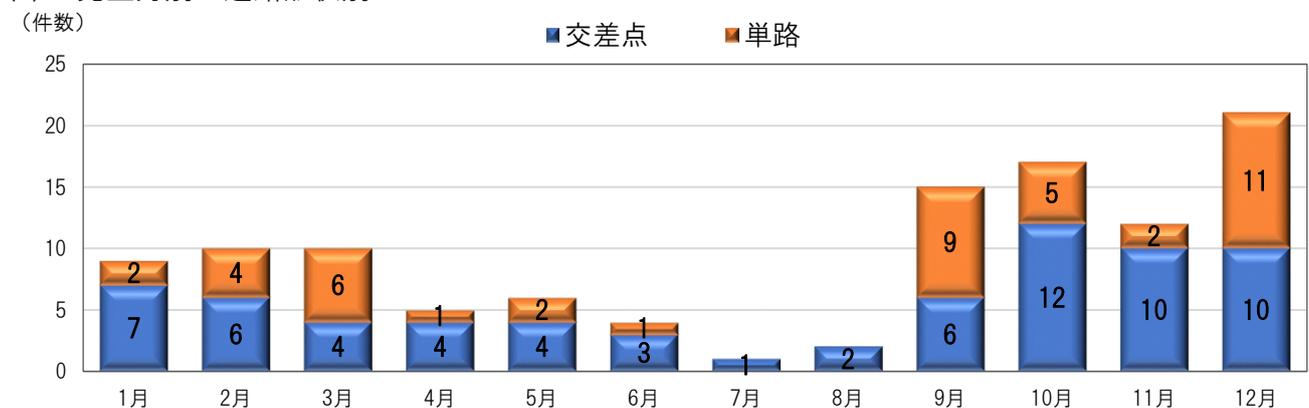
- 道路形状別では、交差点で69件（61.6%）、単路で43件（38.4%）と交差点での発生が多い。
- 路線別では、市町村道で49件（43.8%）、主要地方道と一般県道を合わせた県道で48件（42.9%）、国道で15件（13.4%）と市町村道と県道で全体の86.6%（97件）を占める。
- 車道幅員別では、5.5m以上13.0m未満の道路で85件（75.9%）、5.5m未満の道路で24件（21.4%）、13.0m以上の道路で3件（2.7%）発生

(3) 時間別・道路形状別



- 時間別では、15時から19時台の発生が多く、特に17時台が23件（20.5%）と多発
- 道路形状別では、6時から7時台の早朝時間帯の6件中5件（83.3%）は単路で発生

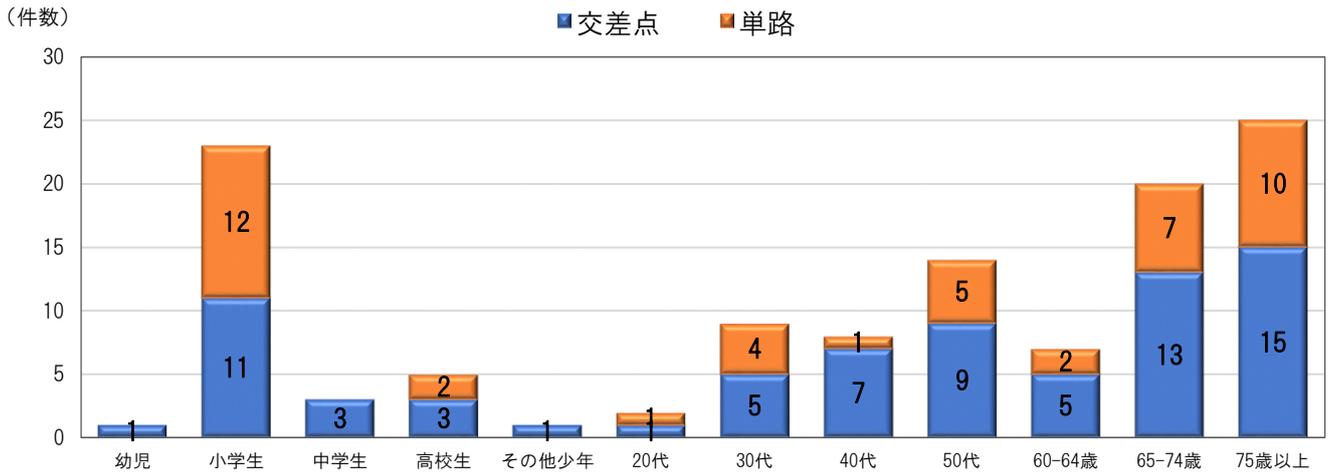
(4) 発生月別・道路形状別



- 発生月では、9月から12月の発生が多く、特に12月は21件（18.8%）と多発
- 道路形状別では、3月、9月、12月は単路での発生割合が高くなっている。

3 歩行者の状況（死傷者数118人）

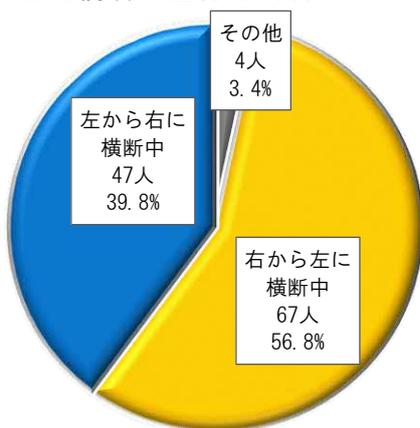
(1) 年齢層別・道路形状別



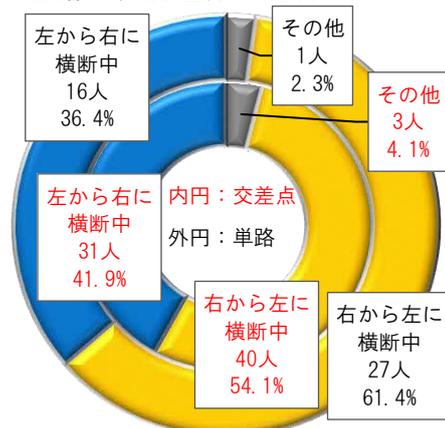
- 年齢層別の死傷者数では、75歳以上の被害が25人（21.2%）と最も多く、次いで小学生の23人（19.5%）、65～74歳の20人（16.9%）と続く。（65歳以上の高齢者は45人（38.1%））
- 道路形状別では、小学生が単路での被害割合が他の年齢層と比較して高い。

(2) 進行方向別（※ 車両から見た歩行者の進行方向）

ア 全死傷者の進行方向別



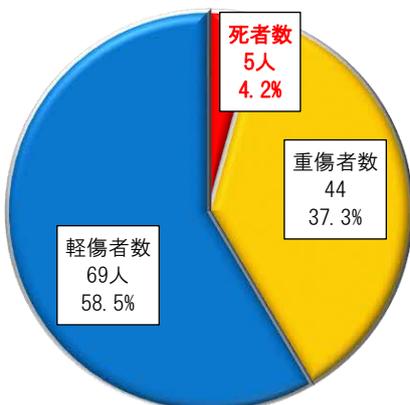
イ 道路形状別進行方向別



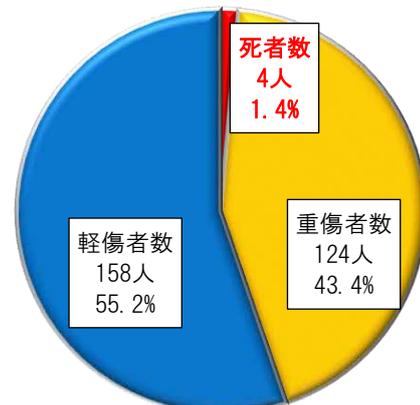
- 車両から見て右から左に横断中の被害が67人（56.8%）と、左から右に横断中の被害の約1.4倍
- 交差点では、右から左に横断中の被害が40人（54.1%）と、左から右に横断中の被害の約1.3倍
単路では、右から左に横断中の被害が27人（61.4%）と、左から右に横断中の被害の約1.7倍

(3) 死亡率（信号機のある横断歩道との比較）

ア 信号機のない横断歩道（死傷者数118人）



イ 信号機のある横断歩道（死傷者数286人）



- 信号機のない横断歩道における死亡率（死亡率＝死亡／死傷）は4.2%で、信号機のある横断歩道の死亡率（1.4%）の3倍